日本グランデ

サ高住事業第2弾「グランウエルネス円山」は8月着工

日本グランデは、サービス付高齢者向け住宅事業の第二弾として、「グランウエルネス円山」（札幌市中央区南5条西21丁目）の建設を計画している。今年八月ごろに着工し、来年八月竣工、同年九月からの入居開始をめざしている。

同物件は、鉄筋コンクリート造、地上七階建てで、総戸数は二十四戸（単身用12戸、2人世帯用12戸）の予定。

居室・共用スペースとも円山という土地柄を意識した豪華な設備・仕様が特徴となっており、居室は、全戸キッチン、浴室、トイレ付きで単身用（1K）が約三〇㎡、二人世帯用（1LDK）が約四〇㎡。また、共用スペースでは娯楽ラウンジ、フィットネスジム、大浴場などが設置されているほか、二十四時間有人管理による見守り、緊急時対応、医療相談などのサービスの提供、さらにメインダイニングでは別途契約により、三百六十五日三食を提供する。

建物は同社が所有して入居者に賃借し、運営は「グランウエルネス山鼻」同様、アクティブ・ケアが行い、日常の各種サービスに加え、ケアプランの作成や身体介護サービス、介護住宅への移り住みにも対応できる体制を整えている。

日本グランデのサ高住事業への参入は、同社のハード、ソフトの両面から同社の経営資源を活用し事業多角化の一環として進めているもので、逐次事業の拡大化を進めていく予定だ。

吉野石膏

25%の軽量化を実現した「超軽量せっこう天井板」

建築資材メーカーの吉野石膏が昨年十二月に発売した「超軽量せっこう天井板シリーズ」が好評だ。同商品は、これまで重いとされてきた天井用化粧せっこうボードを施工負担の軽減を図るために研究開発を進め、超軽量化を実現したもので、「超軽量せっこう天井板シリーズ」として製品ラインナップは直張り天井仕上材の「タイガージプトーン・ウルトラライト」「タイガーマーブルトーン・ウルトラライト」、天井下張り材の「超軽量せっこう天井板」が取り揃えられている。

比重「〇・五」を達成したことで従来の「タイガージプトーン・ライト」などに比べ、重量は一坪あたり二〇・五kgから一五・

七kgと約二五％ダ
（同社比）の軽量
成功。軽くした
で、ハンドリング
さと天井施工時の
の負担を和らげ、
面材の全体重量が
なるので、天井下
の負荷を減らすこ
できる。
　従来のせっこう
ドとは異なるため
耐火、遮音、耐力
定構造や告示の構
そしてJIS規格
求される場合には
できないが、施工
は従来と変わらな
め、施工時の重さ
トレスが解消され
とが期待できる。
　同シリーズの防
能は「タイガージ
ーン・ウルトラ
ト」「タイガーマー
トーン・ウルトラ

エア・ウォーター

ＬＰガスと電気を組み合わせた

「ハイブリッド給湯暖房システムＶＩＶＩＤＯ」北海道内で年間約５００台を設置！

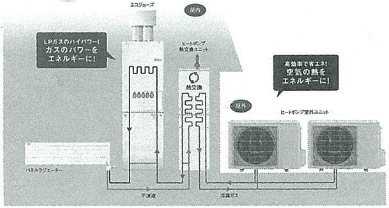
「ハイブリッド給湯暖房システム　VIVIDO（ヴィヴィッド）」は、北海道内で特に給湯において高いシェアを持つLPガスと電気を熱源として組み合わせた給湯暖房システムで、「電気式ヒートポンプ暖房機」と「LPガスエコジョーズ」を組み合わせたハイブリッド方式の給湯暖房システムだ。給湯と暖房に給湯熱効率九五％の「エコジョーズ」を、暖房に暖房熱効率最大三九〇％の電気式ヒートポンプを採用している。

「ヴィヴィッド」の昨年度（平成25年度）の設置実績は約五百台。そのうち約四百三十台が新築一戸建てで採用されている。今年度も六月十六日時点ですでに三百台が設置（うち290台が新築一戸建て）される見通しだ。

「ヴィヴィッド」の最大の特徴であるハイブリッドが最も力を発揮するのは、「エコジョーズ」を補助暖房として使用する暖房システムにおいて、季節ごとに主として稼働する暖房機器を交替できるというところ。たとえば、春や秋は「ヒートポンプ」が単独で稼動し、本格的な冬には「エコジョーズ」が補助暖房機として加わり、両機が相互に稼働する。また著しく外気温が低下する厳寒期には、「エコジョーズ」が暖房機として単独稼働する。

年間を通した暖房運転率は「ヒートポンプ」が八〇％、「エコジョーズ」が二〇％の割合で、これにより年間の暖房熱効率一七〇％を実現（モニター実測値）するなど、経済性に優れ、次世代省エネ基準もクリアしているという。

また、貯湯タンクを必要としないので、湯



ヴィヴィッドの暖房回路概要図

切れの心
なく、い
もキレイ
湯が使え
か、燃焼
小さい静
計、ニオ
発生しに
クリーン
適性、さ
CO_2の
を大幅に
トできる
から高い
性も有し
る。年間
用するエ
ギーの約半分を
房」に費やす北海
とって、経済的に
境にも優しい暮ら
実現することがで
　さらに設置スペ
も、室内設置の「
ジョーズ」と「ヒ
ポンプ熱交換ユ
ト」の二つの機器